

【 2024 年度予算成立 】

保険料率改定により増収・事業見直しにより支出削減も 4 億円の赤字

朝日新聞健康保険組合

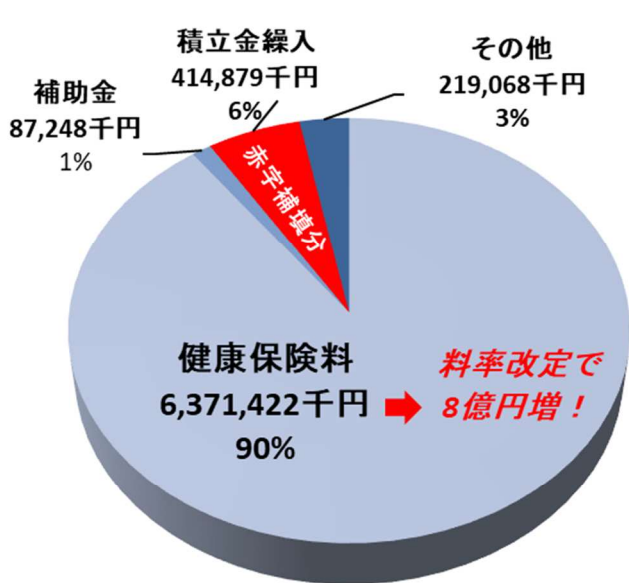
朝日新聞健康保険組合の2024年度予算が2月22日に開催した組合会で決まりました。

2021年度から毎年7億円を超える赤字が続いたことによる財政の悪化により、2024年度から健康保険料率をこれまでの73/1000から85/1000に改定します。それにより健康保険料収入は、前年度予算比8億1千万円増（14.7%増）となります。概ね見込みどおりの増収ですが、それでも4億1千万円収支マイナスとなるため、積立金から同額を取り崩して繰入金として収入に計上します。

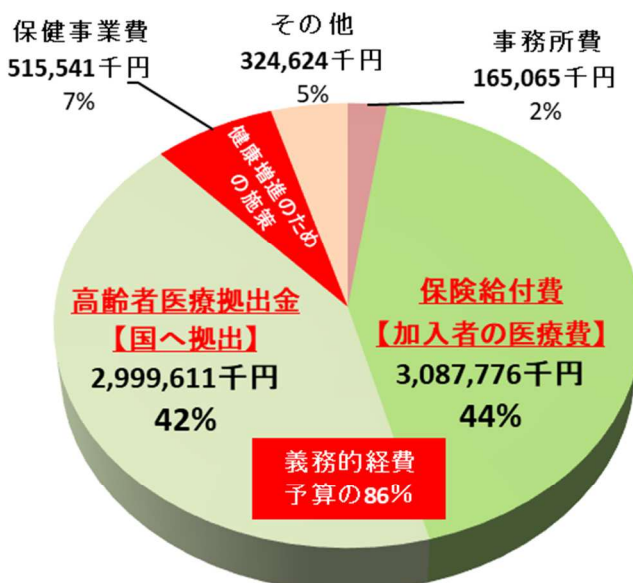
一方、支出については、皆さんの医療費の支払いである保険給付費と国に拠出する高齢者医療納付金に、それぞれ約30億円を計上します。これら法で決められた「義務的経費」の支出が予算の86%を占めています。高齢者医療納付金は、国内の65歳以上の高齢者の医療費を支えるため拠出する支援金で、毎年国に多額の拠出を行っています。2025年に全ての団塊世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」も控えており、今後更に増えていく見込みです。

医療費や納付金を支払うだけでなく、疾病予防や健康増進のための施策を行い、加入者の皆さんの健康をサポートすることが健保組合の本来の重要な役割です。ただ財政の悪化によりそれら保健事業に使える予算は年々減っています。24年度予算では、嵐山保養所とフィットネスルームを閉鎖、これまで原則無料だった人間ドック制度に自己負担3,000円を導入するなどし、前年度より5千万円減少、約5億円の計上となりました。予算全体の7%に留まっています。

限られた財源を医療費削減のための施策に有効に活用し、一層効率的な事業運営を進めてまいります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



収入予算



支出予算

2024年度予算総額
70億9千万円
(収支同額)